

高遠町誌 目次

口 絵

発刊のことは

例 言

第一編 自然編

第一章 位 置 …………… 三

第一節 境界、面積 …………… 三

図 表

1 行政区分(昭和二十九年) …………… 五

2 現在の行政区分 …………… 五

3 高遠町の耕地利用 …………… 六

写 真

1 守屋山 …………… 三

2 入笠山 …………… 三

3 杖突峠 …………… 四

4 金沢峠 …………… 四

第二章 地形、地質 …………… 七

第一節 地形、地質の概観 …………… 七

第二節 地質の概要 …………… 八

図 表

1 日本アルプス地形構造概念図 …………… 八

2 中央構造線と糸魚川静岡構造線 …………… 九

写 真

1 岩石段丘上に建てられた家(高遠地区) …………… 七

2 藤沢御堂垣外橋の沢入り …………… 一〇

3 長藤、板山(中央構造線の露頭) …………… 一〇

4 分杭峠 …………… 一〇

第三章 赤石山脈 …………… 一三

第一節 概 説 …………… 一三

第二節 地形、地質 …………… 一六

図 表

1 赤石山脈主要部概念図 …………… 一五

2 带状構造の対比 …………… 一七

3 西南日本の带状構造と地殻断面図 …………… 一八

写 真

1 左より鋸岳・東駒ヶ岳・仙丈ヶ岳(鹿嶺高原からの眺望) …………… 一六

1 左より鋸岳・東駒ヶ岳・仙丈ヶ岳(鹿嶺高原からの眺望) …………… 一六

第四章 伊那山脈……………二一

第一節 概 説……………二一

第二節 地形、地質……………二二

一 領家變成岩……………二三

二 領家花崗岩類……………二六

三 伊那山脈領家帯の地質……………二九

四 守屋山付近の第三紀層……………三二

表……………三二

1 高遠町付近の地質図……………二二

2 領家變成岩の分帯……………二四

3 守屋層層序表……………三二

4 古生層の上に不整合に重なる礫岩……………三四

5 守屋山付近柱状図……………三七

6 守屋累層と内村累層の關係……………三八

7 守屋累層産の軟体動物化石……………三九

8 守屋山付近地質図および地質断面……………四一

9 守屋累層産の植物化石……………四二

第五章 応用地形、応用地質……………四三

第一節 地下資源……………四三

第二節 地学景観……………四七

表……………四七

1 高遠町地質図……………四四

写

2 昭和二十年以降天竜川洪水記録……………五一

3 ▲美和ダム▽及び貯水池諸元……………五二

4 中央構造線にまたがる美和ダム断面……………五二

図……………五二

5 ▲高遠ダム▽及び貯水池諸元……………五五

6 高遠ダムかんがい用水路系統図……………五六

7 一貫水路概要……………五七

8 下芝平地区地すべり地域地形図……………五八

9 現 況……………五九

10 半対地区地すべり防止計画概要……………六〇

11 被害状況……………六一

12 昭和五十年以降治山事業実施計画……………六三

書……………六三

真

1 高遠石からできてゐる弁天岩……………四三

2 二十二夜様の石仏(石材として利用された高遠石)……………四三

3 高遠城の底盤をなしている黒雲母花崗岩……………四五

4 藤沢小学校下に出された安山岩……………四五

5 荊口半対に露出している蛇紋岩……………四六

6 石灰生産を語る三義村誌……………四六

7 高遠湖……………四八

8 鉾持棧道……………四八

9 カープの多い非持除……………四九

第六章 陸

11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	第四節	第三節	第二節	第一節	14	13	12	11	10
山室鉍泉成分分析表	K—Clの相関図	Na—Clの相関図	湧水と井戸水の水質分析表	湧水および井戸の採水地	藤沢川と山室川の九月—一月の変	陽イオンの中のCa ⁺⁺ の割合	Ca ⁺⁺ とMg ⁺⁺ の比	河川分析表	調査箇所と結果	河川の全流域面積と水温・pH	表	井戸水と湧水	高遠の鉍泉	三峰川・藤沢川・山室川の水温和水質	河川の概況	山くずれの復旧(山室地籍)	水路橋(虹橋)	三峰川右岸の水田地帯	美和ダム堰堤
八一	七七	七七	七五	七四	七二	七一	七一	六九	六八	六六		七三	七九	六六	六五	六二	五五	五三	五一

第七章 湖

6	5	4	3	2	1	第二節	第一節	8	7	6	5	4	3	2	1	15	14	13	12	
千代田湖の位置別分析表	高遠湖採水地略図	高遠湖と周辺河川の水溫・水質	美和湖の地点別水質	調査位置略図	美和湖の位置による水溫の変化	表	概況	橋の入沢	山室元湯鉍泉	香福寺延命水	香福寺太子堂	桂泉院の桂水(タンク)	昔の井戸(桜町共同井戸)	山室川(上流)	旧三峰川	分	溫泉法基準の水溫とおもな化学成	上伊那の鉍泉分類	橋の入沢水成分分析表	宮原梅の湯成分分析表
九〇	八九	八八	八七	八七	八七		八五	八二	八〇	七九	七九	七八	七三	七〇	六五	八四	八三	八三	八二	

第八章 気象

写真

7	美和湖と高遠湖の水温の比較……………	九一
8	美和湖・高遠湖の深さによる水温の 変化……………	九一
9	美和ダム貯水池容量配分計画……………	九一
10	水深による水温の変化……………	九二
1	高遠湖……………	八五
2	美和湖(向かって右側が高遠地 籍)……………	八六
3	千代田湖……………	八九
第一節	総説……………	九三
第二節	気温……………	九三
第三節	降水量……………	九四
第四節	風……………	一〇一
第五節	天気……………	一〇五
第六節	湿度・日照・霜……………	一〇九
第七節	特殊気象……………	一一二
第八節	凶作……………	一一五
第九節	気象と人生……………	一二〇
第十節	昭和三十六年梅雨前線豪雨……………	一二六
1	観測所別二十か年気象統計(定時観 測値—午前九時)……………	九五
2	観測所別二十か年気象統計(最高気 温)……………	九七
3	昭和五十年県内各地の月別最高気温 の平均……………	九七
4	昭和五十年県内各地の最高気温の 極……………	九七
5	観測所別二十か年気象統計(最低気 温)……………	九七
6	昭和五十年県内各地の月別最低気温 の平均……………	九八
7	昭和五十年県内各地の最高・最低気 温の較差……………	九八
8	東部各地の四季の二十か年平均気 温……………	一〇〇
9	昭和五十一年県内各地の月別降水 量……………	一〇一
10	郡内各地の月別降水量……………	一〇二
11	東部各地の月別降水量……………	一〇三
12	高遠町各地区の月別二十か年平均降 水量……………	一〇三
13	高遠町における初雪・終雪……………	一〇三
14	東部地区月別十か年平均最多風向……………	一〇六
15	高遠町の月別五か年平均風速・風 力……………	一〇六

35	七月の豪雨以後の雨量……………	一一八
34	豪雨前後の気象状況……………	一二六
33	高遠公園の桜の開花・満開の日……………	一二五
32	桑の凍霜害被害……………	一一三
31	東部農協供米出荷量……………	一一一
30	昭和四十九年「カミ雪」……………	一一八
29	昭和四十九年台風十四号……………	一一八
28	各地の被害……………	一一七
27	伊那谷の昭和三十六年梅雨前線豪雨……………	一一七
26	各地の降水量……………	一一六
25	号による豪雨……………	一一六
24	昭和四十六年秋雨前線・台風二十五号……………	一一六
23	昭和四十五年集中豪雨……………	一一五
22	高遠町の初霜・終霜の記録……………	一一四
21	県内各地と比較した高遠町の日照……………	一一四
20	平均湿度……………	一一四
19	東部および高遠町各地区五か年月別平均湿度……………	一一三
18	東部地方の天気……………	一一一
17	上伊那各地の天気……………	一一〇
16	東部各地区の最大風力(午前九時観測値)と無風回数百分率……………	一〇八
	高遠町の月別五か年最大平均風速・風力・風向……………	一〇八

第九章 植 物

36	高遠町の被害状況……………	一二九
37	高遠地区洪水の記録……………	一三一
	寫 真	
1	三峰川気象観測所(片山山腹)……………	九三
2	高遠中学校百葉箱……………	九六
3	水田を利用した児童のスケート風景……………	一〇〇
4	仙丈ヶ岳……………	一〇九
5	晴天の多い高遠町……………	一〇九
6	農業の機械化(脱穀)……………	一一一
7	寒天づくり……………	一一三
8	コヒガンザクラの満開……………	一二四
	物……………	一三五
	第一節 総 説……………	一三五
	第二節 植物と人生……………	一四三
	第三節 各地の植物……………	一五二
	寫 真	
1	ダケカンバとシラカバの混合林……………	一三七
2	シラビソの林……………	一三八
3	入笠山牧場……………	一三八
4	ツルヨシの群落……………	一三八
5	フジアザミ……………	一三九
6	クルミの林……………	一三九
7	ハンノキの林……………	一三九

32	高遠公園の桜の古木	一六三
31	トリアシカエデ	一六三
30	千代田湖畔	一六二
29	ミズガシワ	一六二
28	アブラガヤ	一六一
27	サワギキョウ	一六一
26	千代田湖水際	一六一
25	コケ類	一六〇
24	ウメバチソウ	一六〇
23	モウセンゴケ	一六〇
22	ギョウジャニンニク	一五六
21	ハリブキ	一五五
20	イブキジャコウソウ	一五四
19	マツムシソウ	一五四
18	牧場内の木々	一五三
17	入笠牧場	一五三
16	入笠山	一五三
15	アカマツの庭木	一五〇
14	ヒメコマツ	一五〇
13	イチイの庭木	一四九
12	オニグルミ	一四四
11	ヒメムカシヨモギ	一四三
10	オオバコ(乾地)	一四一
9	ミズナラ(オウナラ)	一四一
8	ゲンノシヨウコ	一四〇

第十章 動物

33	竜勝寺	一六四
34	クラガリシダ	一六五
35	参道の松並木	一六五
36	守屋山	一六七
37	頂上の神社	一六七
38	サラシナシヨウマ	一六七
	物	一六九
	第一節 説	一六九
	第二節 高遠町における主要動物	一七一
	図表	
1	三峰川・山室川・藤沢川の河水温度	一九三
2	高遠町各河川における魚	一九四
3	山室川魚類の垂直分布	一九七
	写真	
1	ニホンザル	一七一
2	ニホンイノシシ	一七三
3	猪に荒された稲はぞ	一七四
4	ホンシユウジカ(雌)	一七五
5	ニホンカモウカ	一七六
6	ホンドキツネ	一七七
7	タヌキ	一七七
8	モモンガ・ムササビ	一七九
9	キテン	一八〇

	10	アナグマ	一八〇
	11	オナガ	一八四
	12	カケス	一八四
	13	ムクドリ(雄)	一八五
	14	イヌワシ	一八七
	15	ヤマドリ(雄)	一八八
	16	キジ(雄)	一八八
	17	入笠山の高山蝶	一九九
	18	高遠町域内での珍蝶	二〇〇
	19	アゲハ蝶の代表	二〇一
	20	モンキアゲハ	二〇一
	21	シロチョウ科の種類	二〇二
	22	タテハ蝶の代表	二〇三
	23	国蝶のオオムラサキ	二〇三
	24	アサギマダラ	二〇三
		第二章 現代編	
		第一章 戸口	二〇七
		第一節 壬申戸籍の役割	二〇七
		第二節 高遠町旧町村別戸口の推移	二〇八
		第三節 人口動態	二一五
		第四節 年齢階層別人口動態	二一八
		第五節 産業別就業人口	二一九
図表			
		第二章 政治	二二一
		第一節 概説	二二一
		第二節 高遠城下町の近代への移行	二二一
		第三節 筑摩県時代	二三六
		第四節 地方自治制度の成立	二四六
		第五節 町村合併促進法の制定と高遠町の成立	二五四
		第六節 財政	二六二
	1	明治九年町村別戸口	二〇八
	2	明治三十一年以降累年戸口推移表	二〇九
	3	明治三十一年以降累年人口推移指数表(高遠町旧町村別)	二二一
	4	昭和十五年以降累年戸口推移表	二二三
	5	昭和十五年以降累年人口推移指数表(高遠町旧町村別)	二二五
	6	高遠町人口指数表	二二六
	7	人口動態表	二二六
	8	出生と死亡	二二七
	9	人口動態表(社会増減)	二二七
	10	転入と転出	二二七
	11	年齢階層別人口	二二八
	12	年齢階層別人口動態グラフ	二二九
	13	産業別就業人口	二二〇

第七節 治安	二八九	11 旧高遠町における議員および選挙権を持つ者の数	二五三
一 警察	二八九	12 旧高遠町吏員数および月俸	二五三
二 消防	二九三	13 高遠町の成立	二六三
三 災害	三〇五	14 改租により決定した地価	二六四
四 交通安全	三一五	15 東部一町六か村歳出入予算調	二六八
第八節 兵事	三三七	16 町村歳出予算調	二六九
第九節 社会福祉	三五八	17 予算と村税	二七二
一 福祉行政	三五八	18 養蚕不況救済耕地事業施行之件	二七四
二 福祉施設	三七〇	19 失業救済農山漁村臨時対策低利資金貸付調査	二七八
第十節 保健衛生	三七九	20 高遠町重点施策	二八〇
一 保健行政	三七九	21 財力指数	二八一
二 保健衛生	三九二	22 町債現在高	二八一
三 保健機関	四〇九	23 決算額比較表	二八二
四 水道	四一三	24 財源表	二八三
表		25 各会計別予算額	二八三
1 旧高遠藩士生活実態表	二二九	26 目的別歳出	二八四
2 士族の子女の動向	二三一	27 性質別歳出	二八四
3 明治初年住民移住調	二三二	28 歳入額	二八六
4 商人の移動先	二三三	29 目的別歳出入訳	二八六
5 高遠商人の移動	二三四	30 特別会計の決算状況	二八七
6 東西高遠町の実態	二五〇	31 高遠町消防器械書上	二九三
7 河南村の成立	二五一	32 高遠町消防器械書上	二九七
8 河合村の実態	二五一	33 伊那消防組合組織機構	三〇二
9 三義村の成立	二五二		
10 藤沢・長藤の実態	二五二		

53	過去五年間の飲酒理由の変化……………	三二五	54	飲酒の場所……………	三二六
52	過去五年間の飲酒運転事故発生状況……………	三二五	55	自転車事故の発生場所と事故類型の関係……………	三二七
51	交通事故発生状況および飲酒運転事故……………	三二五	56	自転車事故の発生場所……………	三二七
50	状態別……………	三二四	57	交差点の大きさからみた事故類型……………	三二八
49	老人の事故……………	三二四	58	過去六年間の自転車事故による死傷者……………	三二八
48	全交通事故……………	三二四	59	自転車事故の被害時の状態別……………	三二八
47	指導……………	三二二	60	こどもの交通事故実態(昭五一・一(六月)県警本部……………	三二九
46	春の運動に合わせて実施した交通安全告知……………	三二一	61	時間別歩行中の事故……………	三二九
45	春の全国交通安全運動実施結果報告……………	三二〇	62	曜日別発生状況……………	三三〇
44	運動の準備期間中および期間中の主な実施計画……………	三二〇	63	事故原因……………	三三一
43	町村別被害一覧表……………	三一七	64	自宅からの距離別……………	三三一
42	長野県下に発生した交通事故……………	三一七	65	年齢別、横断の場所別……………	三三三
41	市町村別事故率……………	三一七	66	車両同乗中等の事故年代別……………	三三三
40	降雨状況……………	三一〇	67	車両同乗中等の事故表……………	三三四
39	美和ダム放水量……………	三〇九	68	同伴者の年齢……………	三三四
38	梅雨前線豪雨時……………	三〇九	69	自転車乗用中の事故……………	三三五
37	明治以来の高遠町の大火……………	三〇三	70	交通安全施設整備事業実績報告書……………	三三五
36	高遠分署消防自動車現有台数……………	三〇三	71	地方単独交通安全施設整備……………	三三六
35	高遠町消防団現有機械一覧表……………	三〇三	72	春の交通安全運動実施報告書……………	三三六
34	消防本部消防署、消防分署、消防分遣所の事務分掌……………	三〇二	73	開拓団の状況……………	三五〇

98	97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80	79	78	77	76	75	74
脳障害地区別死亡数	脳血管障害年代別死亡表	高遠町死因別統計表	死因別死亡数	病類別患者数	勤労者検診結果集計表	移動健康教室の実施	事業概況	保健衛生事業計画	薬品名表	薬品注文表	高遠町保育所入所状況	第四保育所園児数	規模表(第三保育所)	規模表(第二保育所)	規模表(第一保育所)	昭和五十年年度利用状況	福祉センター利用統計	使用料	床面積	高齢者表	会員数	分団構成	各戦役戦歿者数表	第十四師団第三二動員一号
四〇八	四〇八	四〇八	四〇七	四〇六	四〇三	四〇二	三九五	三九三	三八九	三八八	三七七	三七七	三七六	三七五	三七四	三七三	三七二	三七一	三六七	三六六	三六〇	三五七	三五七	三五三

写

14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	106	105	104	103	102	101	100	99		
地券	町制施行百周年	新高遠町の概況	三町村合併調印式	町村合併の記録	高遠町外五ヶ町村戸長宛文書	町村制に関する書類綴	太陽曆採用「太陽曆ニツイテノ通達」	満光寺の版木	戸長申付書	河合村成立	内藤頼直領内に酒料を出した口演	御触書御書附留	現高遠町役場	水道工事計画表	水道工事表(一)	水道工事表(二)	水道工事表(一)	水道工事経過表	高遠町医療機関	東部支部(東部地域)開業医表	調	西高遠町外五ヶ町村種痘医現在人員	高遠町地区別平均気温図
二六四	二六二	二六二	二五八	二五四	二四九	二四八	二四〇	二三八	二三八	二三五	二二六	二二二	四一九	四一七	四一六	四一五	四一三	四一二	四一一	四〇九	四〇八	四〇八	

40	防空演習	三五六
39	町葬	三五六
38	国防婦人会	三五五
37	思い出の碑	三五四
36	令状受領証	三五二
35	令状入封筒	三五二
34	支那事変便り綴	三五二
33	満州開拓団慰霊碑	三五〇
32	靖国招魂碑	三四六
31	戦役に関する諸件	三四三
30	兵事に関する件	三四三
29	高遠藩兵越後より帰藩の図	三三八
28	災害	三〇七
27	ガソリンポンプ車	三〇五
26	旧腕用ポンプ	三〇五
25	高遠分署	三〇一
24	警防団長はつび	三〇〇
23	水防旗 高遠町消防団	二九五
22	河南消防組ばれん	二九五
21	河南消防組	二九五
20	龍吐水	二九五
19	高遠幹部警察官派出所	二九一
18	昭和五十年年度決算	二八五
17	広報「たかとお」	二七九
16	河南村村委会事件	二七一
15	民費調	二六四

第三章

産業経済

第一節 総説

41	信州青年希望の船	三六三
42	老人家庭奉仕員のひととき	三六八
43	誕生証書	三六九
44	誕生証書授与	三六九
45	お祝いのことば	三六九
46	福祉センター	三七〇
47	第一保育所	三七四
48	第二保育所	三七五
49	第三保育所	三七六
50	第四保育所	三七六
51	弥勒児童遊園	三七七
52	藤沢片倉児童遊園	三七八
53	西高遠桜町児童遊園	三七八
54	西高遠児童遊園	三七八
55	明治四年御触書	三七九
56	明治十年衛生台帳	三八一
57	衛生委員通達	三八三
58	衛第一二号	三八三
59	ちきり号	四〇四
60	二歳児健診	四〇四
61	大沢浄水池	四一四
62	猪鹿浄水場	四一四
第一節 総説		四二一

第二節	農地改革	四二二	11	資材および労務表	四三四
第三節	水利	四二九	12	地籍	四三七
第四節	土地改良事業	四三二	13	組合員	四三七
第五節	農業団体	四四〇	14	総代	四三七
第六節	農業生産	四五一	15	取水量	四三七
第七節	林業	四七六	16	東部農業団体	四四一
第八節	蚕糸業	五二二	17	東部各農協の状況	四四二
第九節	工業	五四一	18	東部各農協人的構成	四四五
第十節	商業	五八八	19	東部農協合併後の状況	四四六
第十一節	金融	六二六	20	共済事業	四五〇
第十二節	三峰川総合開発	六四五	21	高遠町の各種面積と自然環境	四五二
			22	高遠町種類別土地面積	四五三
1	農地改革前の年貢と昭和二十八年当時の小作料	四二四	23	農家数・主に農業従事人口	四五五
2	農地改革前後の農地および農家状況	四二六	24	経営耕地広狭別農家数	四五五
3	農地改革前後の農地状況	四二七	25	経営耕地面積	四五五
4	農地改革前後の農地、農家の状況	四二八	26	農機具	四五六
5	用水堰	四三〇	27	動力農機具所有表	四五七
6	高遠の用水堰	四三〇	28	家畜・家きん	四五八
7	高遠の溜池	四三一	29	農業生産額	四五八
8	高遠の揚水機設置	四三一	30	農作物価額表	四六七
9	主要工事計画	四三四	31	乳牛飼育農家数	四六八
10	河南一貫水路計画経過表	四三四	32	乳牛飼養戸数	四六八
			33	乳牛飼養頭数	四六九
			34	役・肉牛飼育表	四六九
			35	役肉牛頭・戸数表	四七〇

36	豚飼育表	四七〇
37	豚飼育戸・頭数表	四七一
38	鶏飼育表	四七一
39	馬飼育経過表	四七二
40	高遠町種類別土地面積	四七七
41	高遠町全林野所有者別面積	四七八
42	町有林経営形態別面積	四七八
43	部落有林所有別面積	五一三
44	部落有林	五一四
45	公有林形態別所有林野	五一五
46	財産区有林の経営	五一五
47	高遠町町有林	五一六
48	財産区明細	五一七
49	高遠町林道明細	五一八
50	生産森林組合一覽表	五二〇
51	生産森林組合別所有面積一覽表	五二一
52	三義村桑園反別	五二三
53	西高遠町桑園反別	五二三
54	養蚕戸数ならびに掃立枚数および収繭調	五二四
55	大正年代養蚕状況調べ	五二五
56	養蚕状況	五二六
57	個人別蚕種製造額	五三一
58	生糸製造工場一覽表(昭和十六年度)	五三四
59	生糸製造工場一覽表(昭和十八年度)	五三四
60	高遠の工産物	五四二
61	職人運上人員	五四三
62	河合村職人調	五四四
63	高遠町の工業	五四四
64	高遠町工産物表	五四五
65	各地区商工業調	五四五
66	町内工場	五四七
67	工業状況	五四七
68	高遠町工業状況	五四七
69	産業大分類における高遠町の状況	五四七
70	高遠町における産業別分類出荷額	五四八
71	高遠町の工業の規模と工業分類	五四八
72	町内各種工場調査	五四九
73	町内諸工業分類と年産額	五五二
74	町内工業統計	五五四
75	現高遠町の清酒製造高	五五九
76	上伊那の他町村製造高	五六〇
77	醸造者名	五六二
78	酒造税第一期	五六二
79	西高遠町陶器生産調	五七〇
80	借区坑業明細表	五七〇

100	99	98	97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81									
指導事業実績	高遠町商工会の概況	その他営業等	高遠町商品物価表	高遠町通過商品調	高遠町営業人台帳戸数	西高遠町諸物価	明治三十一年九月現在営業者として 日本全国商工人名録に登録された人 名	明治二十二年における西高遠町の商 店屋号	米馬売馬頭数表	駅伝取締に係る調書	高	明治十二年商業の種別、戸数、売上 高	明治五年商品相場	明治四年高遠町町内別商業および職 業調	上伊那の商家数	海草を白でついで洗った水車のき ね	上伊那の石灰生産	高遠陶器製造高	借区坑業明細表	高遠焼諸窯図								
六二一	六一九	六一三	六一二	六一一	六一〇	六一〇	六〇九	六〇六	六〇五	六〇四	六〇二	六〇一	六〇〇	五八九	五八五	五七七	五七五	五七四	五七二									
5	4	3	2	1	写 真					118	117	116	115	114	113	112	111	110	109	108	107	106	105	104	103	102	101	
事業実施計画説明表	第二次構造改善事業地図	潤天地	河南一貫水路	千代田溜池	春近発電所主要要目表	美和発電所主要要目表	三峰川総合開発一覽表	東部農協金融経済状況	農協にて取扱う金融機関委託業務	農業協同組合の系統組織図	明治十五年物産表	開産社への資本金額	積穀金額表	町内地区別商店数	高遠町商業分類調	高遠町商店分類調	業種別販売額	商業販売額	西高遠町商店調	四地区商店調	高遠町と四地区戸数、商店調	金融あっせん	業種別販売額	商業販売額	西高遠町商店調	四地区商店調	高遠町と四地区戸数、商店調	金融あっせん
四三八	四三八	四三六	四三三	四三三	六五四	六五一	六五〇	六四三	六四二	六四二	六三三	六三二	六三〇	六二四	六二三	六二三	六二二	六二二	六二二	六二二	六二二	六二二	六二二	六二二	六二二	六二二	六二二	六二二

目次(現代編)

28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6		
日本ソフ工場	高遠計器会社工場内部	河南電子工業会社	鶴屋電子工業会社	屋根師、大工運上表	役員諸事控	西高遠戸長役場綴	商標見本	商標登録願	蚕種	整理記念碑	芝平山村有統合記念碑	記念碑正面写真	中村共有山に関する規約書	調定者三名の署名	片倉山伊那諏訪入会地分割協定	細帳	溝口山入会争論出頭簿と山論入費明	東部農協本部入口	第二次農業構造改善事業	生まれかわった田畑の波	圃場整備	パイプハウス	引持構改作業	
五五三	五五三	五五二	五五二	五四三	五四三	五四三	五三五	五三五	五二七	五〇九	五〇二	五〇一	四九六	四九四	四九〇	四八九	四四四	四四〇	四四〇	四三九	四三九	四三九		
53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29
上等酒 白瀧	老の松正宗	鑑 札	醬油減造届	鑑札の型	紋油の通達	営業許可証の型	清酒鑑札の型	清酒布達(3)(営業許可証)	清酒布達(2)(営業願)	清酒布達(1)	油元絞運上名	醬油運上名	酒造運上名	清酒一石代 明治九年	仙醸酒造	工場内部	大日本自転車株式会社	工場内部自転車完成品	東京スポーツ伊那工場	高遠製函ねりん	高遠製函会社	高遠計器会社前景	高遠スミダ会社	長野ロア会社
五六六	五六六	五六六	五六五	五六五	五六五	五六四	五六三	五六三	五六三	五六二	五六一	五六一	五六一	五六〇	五五九	五五八	五五八	五五八	五五七	五五七	五五五	五五五	五五五	五五三

77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	
ほし上がった寒天はこうして荷造場	糊つぎ 糊状になった寒天をモロブ タにつぎ入れる……………	改良台を日向方向に向ける……………	空のモロブタを運ぶ……………	天草を洗う水車……………	寒天工場入屋……………	高遠焼桜窯と唐木氏……………	㊦組糸鍋の商標……………	㊦組における製糸用半月鍋……………	鑑札願……………	展示会場見学風景……………	蘭 引……………	酒 器……………	水 瓶……………	火 鉢……………	展覧会の看板……………	多町安田窯製……………	庄の山窯製……………	番匠焼進窯製……………	土 管……………	味噌・醬油・寸卸小売看板……………	太松酒店仙醸・酒徳利……………	仙醸本店看板……………	酒税上納届……………	
	五八六	五八六	五八四	五八四	五八二	五七六	五七六	五七六	五七五	五七三	五七三	五七三	五七三	五七二	五七一	五七一	五七一	五七〇	五六九	五六九	五六九	五六八	五六八	
101	100	99	98	97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80	79	78	
送水管……………	春近発電所……………	高遠ダム……………	美和ダム・美和発電所……………	美和ダム……………	戦時中の紙幣……………	戦時特別据置貯金証書……………	伊那信用金庫高遠支店……………	八十二銀行高遠支店……………	無尽記録……………	貯金穀割合調書……………	積穀書上帳……………	河合村、芝平村積穀届……………	資本金額……………	開産社資本金額……………	開産社印……………	新旧貨……………	金札と高遠藩札……………	商工会報表紙……………	萱屋根の家……………	売薬発売請売明細簿……………	売薬請売願……………	菓子製造税収納帳……………	運上名前書留帳……………	へ運ぶ……………
六五二	六五二	六五二	六五〇	六四六	六四四	六四四	六四一	六四〇	六三六	六三五	六三五	六三四	六三三	六三一	六二九	六二八	六二七	六一四	五九八	五九四	五九四	五九二	五九〇	五八六

第四章 交 通

103	102	殉難の碑	六五五
		水路橋	六五五
		通	六六一
		第一節 概 説	六六一
		第二節 交通運輸の変遷	六六二
		第三節 諸 車	六八一
		第四節 国鉄バス高遠線	六八四
		第五節 道 路	六八九
		第六節 橋	六九五
		第七節 交通運輸の現況	六九八
		表	
1		運輸状況調査	六六九
2		人足稼業賃金表	六七一
3		駕籠賃金表	六七一
4		旅舎(旅人宿・荷主宿・木銭宿)宿	
		泊料表	六七一
5		牛馬宿料	六七一
6		人力車賃金表	六七一
7		高遠町宿泊者旅先調	六七四
8		旅客表	六七五
9		輸出貨物表	六七七
10		輸入貨物表	六七九
11		荷車台数表	六八一
12		運送車台数表	六八二

第五章 通 信

	13	自転車発達一覽表	六八三
	14	管内道路現況	六九八
	15	主要橋梁の現況	六九九
	16	昭和五十二年道路交通量調査実績表	七〇〇
	17	高遠駅発伊那方面時刻表	七〇一
	18	高遠駅より主要駅までの運賃	七〇四
		寫 真	
	1	中牛馬会社	六六四
	2	伊那―高遠間を行く(運送)	六八二
	3	高遠小学校庭の自転車競走	六八三
	4	大正七ころのバス(銚持棧道)	六八四
	5	高遠町道路元標	六八九
	6	金沢峠改修工事献納願	六九〇
	7	馬車が行く銚持棧道	六九二
	8	工事中の銚持棧道	六九三
	9	工事完成の銚持棧道	六九三
	10	小豆坂トンネル	六九四
	11	開道記念碑	六九五
	12	土橋の天女橋	六九六
	13	工事中の弁財天橋	六九七
		信	
		第一節 通信の発達	七〇五
		第二節 通信の現況	七〇五

第三節 有線放送……………七一八

図表

1	人夫賃表……………	七〇九
2	電話加入者表……………	七一五
3	アイウエオ表……………	七一五
4	一般電話交換……………	七一七
5	地域集団電話の自動交換機の設備状 況……………	七一七

写真

1	郵便取扱所辞令……………	七〇七
2	資金抵当入れ証書……………	七一〇
3	飛脚姿……………	七二二
4	高遠局の交換室……………	七二三

第六章

集落

第一節	概説……………	七二一
第二節	集落の変遷……………	七二二
第三節	集落の分布……………	七三七
第四節	集落立地……………	七四五
第五節	集落の景観……………	七五七
第六節	集落の機能……………	七六〇
第七節	古き町・高遠……………	七七四
第八節	過疎脱却を計る町・高遠……………	七八七
第九節	住民……………	八〇三
第十節	新しい集落の開発……………	八〇六

図表

1	高遠の大区・小区……………	七二四
2	新町村名……………	七二四
3	新町村名……………	七二五
4	分村希望とその結果……………	七二六
5	新町村の誕生……………	七二六
6	高遠町の町村合併進捗状況表……………	七二七
7	街道図……………	七二八
8	高遠地区の人口推移……………	七三三
9	三義地区の人口推移……………	七三四
10	三峰川沿岸地域地勢図(段丘分布状 況)……………	七三八
11	山室川谷地域・藤沢川谷地域の地勢 図……………	七三九
12	三峰川沿岸地域の集落分布図……………	七四〇
13	高遠城址、高遠市街を中心とした東 西断面模式図……………	七四一
14	山室川中心の山体の比較……………	七四二
15	山室川谷、藤沢川谷の集落分布図 ……………	七四三
16	塩供、赤坂を中心とした東西断面模 式図……………	七四四
17	長藤地区集落の状況……………	七四四
18	藤沢地区集落……………	七四四
19	集落と地形……………	七四六

41	商業統計	七八〇
40	工業種別戸数	七七九
39	業種別戸数表	七七九
38	施設表	七七三
37	図	七七三
36	河南地区農業構造改善事業計画概要	七七二
35	栽培別面積	七七二
34	位置図	七七一
33	蔬菜規模別農家数	七七一
32	果樹栽培	七六九
31	施設園芸の施設のある面積	七六九
30	三義地区井堰一覽	七六七
29	高遠地区井堰一覽	七六七
28	堰の名称	七六六
27	河南地区溜池	七六六
26	耕作放棄地	七六五
25	地区別経営耕地面積	七六四
24	專業兼業別農家数	七六三
23	経営耕地面積規模別農家数	七六一
22	面積	七六一
21	高遠町の井戸数と深さ	七四九
20	小原段丘崖模式図	七四九
19	農家一戸当たりの耕地・山林・原野	七五三
18	金井集落を中心にした南北断面模式図	七四九
42	高遠町製糸業実態(大正十三年)	七八一
43	高遠町製糸業実態(大正十五年一月)	七八一
44	工業統計	七八二
45	就業者総数に対する産業別就業率	七八三
46	買物理由調査	七八四
47	買物理由(率の多い順位)	七八四
48	高遠町の商品別買物動向率	七八五
49	高遠町人口減少率	七八八
50	高遠町財政実態	七八八
51	三義地区戸数・人口の推移	七九〇
52	高遠地区人口推移	七九〇
53	過疎の認識	七九二
54	医療について	七九二
55	防災についての不安	七九三
56	買物について	七九四
57	バス交通の便利さについて	七九五
58	道路に対する不満	七九六
59	若い人の交際や結婚の問題	七九六
60	自営業者の後継ぎ問題	七九六
61	現在の生活の満足度	七九六
62	将来の生活の見通し	七九七
63	工場誘致の賛否	七九七
64	工場誘致賛成の理由	七九八
65	今の地域に住みたいか	七九八

写

真

66	住みたたくない理由……………	七九九
67	住みたくない人が移転するとすれ ば、その移転先は……………	八〇〇
68	集落移転は賛成か……………	八〇〇
69	集落移転に賛成の理由……………	八〇〇
70	姓別戸数表……………	八〇三
71	順位表……………	八〇三
72	姓五十音順表……………	八〇四
1	鉾持棧道……………	七二九
2	御堂垣外宿場……………	七二九
3	さびれた桜町……………	七二九
4	国鉄バス駅前通り……………	七三〇
5	神明団地……………	七三〇
6	小原段丘崖の集落……………	七三〇
7	新屋敷団地造成計画……………	七三一
8	小豆坂トンネル……………	七三一
9	押出地区の工場地帯……………	七三四
10	山室鉱泉……………	七三五
11	入笠高原……………	七三五
12	千代田湖……………	七三五
13	神明団地……………	七三六
14	廃墟と化した三軒屋……………	七三六
15	東高遠集落……………	七四一
16	新山川の河口に位置する押出集落	七四一
17	金井集落……………	七四七
18	下山田集落……………	七四八
19	勝間集落……………	七五〇
20	山裾の町高遠……………	七五〇
21	東高遠集落……………	七五一
22	花畑の共同井戸……………	七五一
23	上原付近の水田地帯……………	七五二
24	台集落……………	七五二
25	山腹集落越道……………	七五三
26	下芝平の山腹集落……………	七五四
27	下芝平の小平水田……………	七五四
28	古屋敷集落……………	七五五
29	峠の高原集落……………	七五五
30	引持集落……………	七五六
31	三義の寛……………	七五六
32	中二階の町家……………	七五八
33	袋町の迷路……………	七五八
34	谷底を流れる山室川とその周辺集 落……………	七五九
35	窪地にある中心集落久保……………	七五九
36	四日市場の街道(元宿場で路村)……………	七六〇
37	耕作放棄地……………	七六五
38	下芝平の棚田……………	七六八
39	圃場整備完成地(南反歩地区)……………	七七二

第七章 教育

第一節 概説	81-1	40 同 右(引持地区)	77-2
一 学校教育	81-1	41 同右の工事中(引持農構工事)	77-2
二 社会教育	82-7	42 下山田八幡原園芸団地	77-4
三 就学奨励と教育思想の変遷	83-9	43 鉾持町(往時より鉾持神社の門前町として栄えた)	77-6
第二節 学校教育	84-8	44 芝平区農家の廃墟	79-1
一 旧高遠町	84-8	45 荒屋敷集落	79-1
(一) 高遠小学校	84-8	46 下芝平集落	79-2
		47 下芝平の棚田	79-3
		48 辰尾集落	79-4
		49 卯沢集落	79-4
		50 大下集落	79-5
		51 芝平集団移住地	80-1
		52 宮下集落	80-1
		53 芝平集団移住地(河南上山田金井地区)	80-1

1 官立学校設立伺	81-4	(一) 町立高遠中学校	87-6
2 就学率の比較	81-6	(二) 長野県立高遠高等学校	88-6
3 高遠町小学校表	81-7	(三) 長藤学校	89-6
4 町村別生徒在籍数	81-9	(一) 高遠北小学校	91-2
5 補習学校設置状況	81-9	三 旧三義村	95-0
6 高遠町関係集団疎開表	82-2	四 旧藤沢村	95-8
7 高遠町寺子屋数	82-5	五 旧河南村	97-3
8 明治初期高遠学校への官員の巡回		第三節 社会教育	
		一 公民館	98-8
		二 町立高遠進徳図書館	104-7
		三 青年会	105-3
		四 婦人会	107-9
		五 同好会	110-1
		六 社会教育施設	113-8
		七 生活改善	114-6

28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9				
児童数	四キロ以遠バス通学を必要とする児童数	級数一覽表	小学校を統合した場合の児童数・学級数一覽表	統合小学校建設予定図	小学校児童生徒学級数表	昭和四十五年―五十年高遠町小・中学校児童生徒学級数表	長藤小学校校章	長藤小学校校章	長藤小学校校章	長藤小学校校章	長藤小学校校章	長藤小学校校章	長藤小学校校章	長藤小学校校章	長藤小学校校章	長藤小学校校章	長藤小学校校章	長藤小学校校章	長藤小学校校章	長藤小学校校章	長藤小学校校章		
九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二	九二二		
51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	
長藤村母親学級	高遠町母親学級	東部公民館行事表	図書名	公民館創設期運営一覽表	河南学校発展一覽表	児童生徒数および学級数の推移	小学変則課業	藤沢小学校校章	藤沢小学校校章	藤沢小学校校章	御堂垣外村訓蒙学校図	学区表	三義学校発展一覽表	三義小学校児童数、学級数、教員数	北小学校章	高遠北小学校校章	高遠町北小学校校章	宮の原遺跡の地形	統合小学校建設予定地	両候補地の比較	児童数推移	校地比較表	校地比較表
一〇〇六	一〇〇六	九九四	九九二	九九二	九九二	九九二	九九二	九九二	九九二	九九二	九九二	九九二	九九二	九九二	九九二	九九二	九九二	九九二	九九二	九九二	九九二	九九二	九九二

74	公民館費及び関連事業費	一〇四二
73	河南分館事業報告	一〇四一
72	藤沢分館事業報告	一〇四〇
71	三義分館事業報告	一〇三八
70	長藤分館事業報告	一〇三七
69	高遠分館事業報告	一〇三六
68	公民館事業実施回数	一〇三五
67	高遠町同和对策事業計画書	一〇三四
66	社会教育年次計画	一〇三一
65	業	一〇二七
64	高遠町青少年問題対策協議会年間事業	一〇二四
63	家庭教育学級事業報告書	一〇一九
62	文部省委嘱婦人学級	一〇一八
61	婦人学級予算割当表	一〇一七
60	文部省委嘱婦人学級実施計画書	一〇一四
59	青年学級予算割当表	一〇一二
58	長藤青年学級	一〇一一
57	藤沢青年学級概況	一〇一〇
56	三義青年学級概況	一〇〇九
55	青年学級時間数表	一〇〇九
54	高遠青年学級概況	一〇〇八
53	河南青年学級概要	一〇〇七
52	藤沢村母親学級	一〇〇七
99	分館組織	一〇四四
98	連青組織図	一〇七五
97	事業計画	一〇七六
96	高遠町連青予算計画	一〇七七
95	結婚適齢者表	一〇八三
94	高遠地区婦人会	一〇八九
93	長藤地区婦人会	一〇九〇
92	三義地区婦人会	一〇九〇
91	藤沢地区婦人会	一〇九一
90	河南地区婦人会	一〇九二
89	東部農協婦人部事業計画	一〇九五
88	婦人に関する調査	一〇九七
87	花讀会押印	一〇一二
86	高遠郷土研究会行事一覧表	一一〇八
85	高遠V・Y・S会事業	一一一三
84	昭和五一年度決算書	一一一四
83	長藤地区同好会表	一一一九
82	三義地区同好会表	一一一九
81	藤沢・河南地区同好会表	一一二〇
80	老人クラブ	一一二九
79	高遠地区老人クラブ連合会	一一三〇
78	五一年度収支精算書	一一三〇
77	長藤老人クラブ長生会事業	一一三一
76	三義地区山室長寿会事業計画	一一三三
75	山室長寿会予算書	一一三四

110	109	108	107	106	105	104	103	102	101	100
生活改善グループ一覽	若妻会	事業計画	事業収支予算表	冠婚葬祭に対する意識の実態	生活改善推進委員会申し合せ事項	高遠町郷土館実績表	画書	学校体育施設照明施設設置事業計	河南老人会行事	片倉長生会予算書
一一六一	一一六〇	一一五七	一一五六	一一五二	一一四五	一一四一	一一三五	一一三五	一一三五	一一三四
写 真										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
大木喬任の額	中原豊太郎	高遠分教場職員	墨ぬりの教科書	「学即得」の額	筑摩県師範講習所第一回卒業生	長藤公民分館(農協)	三義公民分館	藤沢公民分館(農協)	河南公民分館(農協)	小原公民支館
八一三	八一五	八一八	八二二	八二四	八二五	八二九	八三二	八三三	八三四	八三四
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
文集「やますそ」	高遠公民分館図書室	高遠町郷土館	『上下小字授業法細記』	『高遠学校沿革誌』	加入金名簿	第十八小学開校触れ	明治五年の教科書	進徳学校開校触れ	現建福寺	現満光寺
八三六	八三七	八三八	八四一	八四九	八五一	八五三	八五五	八五八	八六三	八六三
23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
西高遠学校・転校届の部	県令木梨精一郎揮毫の額	高遠学校旧校舍全景	申合書	高遠分教場 高等科卒業生	野球の試合風景	職員室・体育館建設中	高遠小学校支関	思い出の地	満光寺学寮の疎開児	新校舍
八六四	八六五	八六六	八六六	八六七	八七〇	八七一	八七二	八七三	八七三	八七七
34	35	36								
聖 橋	高遠中学校全景	全国大会出場記念								
八七九	八八〇	八八三								

59	土壩群の一部	九四一	37	運動練習	八八四
58	オセンベ土器	九四〇	38	原一衛文庫	八八五
57	縄文早期住居址	九四〇	39	「修卒業生名簿」とその第一頁	八八六
56	宮の原遺跡調査発掘の状況	九三九	40	裁縫専修科修了生	八八七
55	候補地宮の原の景観	九二八	41	男子夜学科有志	八八九
54	高遠町総合福祉センター	九一四	42	補習科修卒業生	八九〇
53	跡	九一四	43	初代校長 小松清志	八九三
52	遊園地になった高遠小学校北校舎	九〇九	44	高遠高等学校校門	八九四
51	現北校舎	九〇七	45	高遠高等学校全景	八九五
50	同裏面	九〇七	46	初代校長 小松清志ブロンズ	八九五
49	養愚学校統一記念碑	九〇〇	47	北校舎および玄関を南より見て	八九六
48	よる移動養愚学校案	八九九	48	板山村・野笹村・中村三か村合同に	
60	第一、二、七号住居址	九四一	69	三義小学校荊口分校	九五四
61	オセンベ土器	九四一	70	三義小学校芝平分校	九五四
62	南遺跡発掘風景	九四二	71	片倉学校の掲額	九六二
63	工事中の風景	九四二	72	片倉学校	九六二
64	高遠町北小学校建設予想図	九四四	73	台分教場	九六五
65	北小学校玄関	九四六	74	御堂垣外本校訓蒙学校	九六六
66	朝室学校のおかれた遠照寺とその別院	九五一	75	藤沢小学校全景	九七一
67	本立学校のおかれた弘妙寺	九五一	76	藤沢小学校の一部	九七一
68	三義小学校本校正面	九五四	77	藤沢小学校児童玄関および岩石園	九七一
78	昭和四十八年度卒業生の記念校歌碑	九七三	79	文谷小校設立伺の一部	九七六
80	出席記	九七八	81	出席簿	九七八

106	レクリエーション	一〇九三
105	高遠婦人会総会	一〇九三
104	婦人会史跡めぐり	一〇九二
103	高遠国防婦人会	一〇八一
102	市場飼料売上帳	一〇六二
101	飼料売上書の一部	一〇六二
100	高遠種付所	一〇五九
99	多町青年事務録	一〇五四
98	馬島文庫	一〇五三
97	進徳図書館内部書棚	一〇五二
96	建設要旨	一〇五〇
95	館誌	一〇五〇
94	設立趣意書	一〇四八
93	諸学級運営の状況	一〇三二
92	婦人学級野外研修	一〇二一
91	婦人学級活動盛況	一〇一五
90	公民館ひろば	九九一
89	賞状	九八三
88	皆勤証	九八三
87	上山田学校卒業証書	九八三
86	進誘学校卒業証書	九八二
85	小原文谷学校設立の略図	九八一
84	学校敷地拝借願	九八一
83	文谷学校生徒出席簿	九七九
82	第二分校 出席簿	九七八
107	農協婦人部	一〇九四
108	書道クラブ展覧	一一〇四
109	母親コーラス	一一〇六
110	「高遠」創刊号	一一〇七
111	裸婦デッサン会	一一一〇
112	高遠囃婦人同好会	一一一一
113	V・Y・Sメンバー	一一一二
114	郷土舞踊会	一一一五
115	芸能グループ出演	一一一六
116	民謡クラブ出演	一一一六
117	観世謡薙会練習会	一一一七
118	詩吟聖楠流生花発表大会	一一一九
119	山室甚句	一一二〇
120	町民ソフトボール大会	一一二三
121	老人会研修旅行	一一三一
122	高遠町民体育館	一一三八
123	トレーニング室	一一三八
124	バレーボール試合	一一三九
125	体育館	一一三九
126	運動場	一一四〇
127	照明施設	一一四〇
128	郷土館	一一四二
129	高遠閣	一一四六
130	小原公民支館	一一四六
131	生活改善	一一四七

第八章 学芸

132	結婚式に関する申し合せ	一一五三
133	生活改善についての問題点	一一五四
	芸	一一六三
	第一節 美術・工芸	一一六三
	第二節 建築	一一七三
	第三節 文芸	一一七八
	図表	
1	近代の公共建築	一一七七
2	高遠町を素材にした文学作品表	一一八〇
	写真	
1	内藤頼寧画	一一六四
2	文谷の作品	一一六五
3	布袋の図	一一六五
4	馬追いの画	一一六六
5	農作業の図	一一六七
6	高遠城の鳥かん図	一一六七
7	竹に虎の図	一一六八
8	卍和壁を抱いて泣く	一一六九
9	鬮鶏の図	一一七〇
10	少年	一一七〇
11	伊那谷の夏	一一七一
12	初冬	一一七二
13	山間の駅	一一七二

第九章 文化財保護

14	原医院	一一七五
15	いろは堂	一一七五
16	高遠閣	一一七七
17	現在の松田屋	一一七九
18	田山花袋書屏風	一一八一
19	十四日市	一一八七
20	庇の人形(1)	一一八七
21	庇の人形(2)	一一八七
	文化財保護	
	第一節 文化財保護附郷土館	一一八九
	一 文化財保護の胎動	一一八九
	二 文化財保護委員会	一一九〇
	三 高遠町文化財保護委員会設置条例	一一九一
	四 高遠町郷土館の設定について	一一九五
	図表	
1	高遠町郷土館内部間取図	一一九九
2	高遠町郷土館 正面・立面図	一二〇〇
3	絵島花畑屋敷見取図	一二〇一
4	高遠町関係郷土資料目録	一二〇三
5	文化財台帳 国の指定	一二〇七
6	文化財台帳 県の指定	一二〇七
7	文化財台帳 町の指定	一二〇八
8	書画の部	一二一〇

9	工芸品	一二二四
10	資料の部	一二二六
11	書籍の部	一二二七
12	民俗資料の部	一二二八
13	交通資料の部	一二二八
14	高遠町文化財保護委員会出版物一覧表	一二一九
15	様式第四号	一二二三
16	様式第十三号	一二二六
17	様式第十四号	一二二八
18	昭和四十二年度分入場者および金額合計表	一二三一
19	昭和四十三年度分入場者および金額合計表	一二三二
20	高遠町郷土館入館実績表	一二三三
21	販売品実績	一二三三
22	郷土館費支出状況	一二三四
23	高遠町郷土館入館実績表	一二三五
24	販売品実績	一二三五
写		
1	文化財台帳	一一九四
2	高遠町郷土館	一一九五
3	郷土館の内部	一一九五
4	絵島囲屋敷	一一九八
5	阪本天山書「題壁」	一二〇五

第十章 観光

6	高遠城跡	一二〇八
7	桂泉院梵鐘	一二〇八
8	守屋貞治作「大聖不動明王」	一二〇九
9	高遠城追手門	一一一一
10	鎧 内藤藩主着用のもの	一一一五
11	進徳館使用教科書	一一一七
12	十手ほか	一一一九
観光		
第一節 史蹟と名勝		
1	高遠の史蹟めぐり	一二四一
2	高遠城跡・公園	一二四二
第二節 社寺		
3	名勝	一二四三
4	勝	一二四九
第三節 桜と石仏と郷土館		
1	桜と石仏と郷土館	一二五〇
2	高遠と祭りとみやげ品	一二五四
図表		
1	高遠への交通	一二四二
2	高遠郷土館年度別大人小人別入館表	一二五一
3	高遠郷土館月別大人小人別入館表	一二五一
写		
1	高遠町観光図	一二四一
2	観光ポスター	一二四三

	3	蓮華寺山門	一二四五
	4	絵島の墓	一二四五
	5	桂泉院の梵鐘	一二四七
	6	守屋貞治作地藏尊	一二四七
	7	塚原ト伝碑と山本勘助手植えの桜	一二四七
	8	峯山寺本堂	一二四八
	9	竜勝寺	一二四八
	10	高遠湖	一二四九
	11	守屋貞治の墓	一二五二
	12	高遠町郷土館	一二五二
	13	絵島囲屋敷	一二五二
	14	高遠町営ホテル絵島	一二五三
	15	松田屋	一二五三
	16	入笠高原	一二五五
	17	千代田湖	一二五五
		第十一章 宗 教	一二五九
		第一節 神仏分離	一二五九
		第二節 キリスト教	一二六〇
		第三節 諸宗派	一二六二
一		日蓮正宗創価学会	一二六二
二		天理教	一二六二
三		立正佼成会	一二六三
四		生長の家高遠誌友相愛会	一二六四

		写 真 表	
	1	高遠町各地区の神社数	一二六五
	1	鉾持社	一二五九
	2	高遠メソジスト教会	一二六一
	3	一八九四年四月二十八日出席者名	一二六一
	4	天理教大屋敷分教会	一二六三
	5	鉾持神社	一二六八
	6	鹿島神社	一二七一
	7	山室神社	一二七五
	8	諏訪社	一二八〇
	9	熊野社	一二八二
	10	満光寺	一二八六
	11	建福寺	一二八八
	12	西竜寺	一二八八
	13	峰山寺	一二八九
	14	樹林寺	一二八九
	15	桂泉院	一二八九
	16	蓮華寺	一二九二
	17	香福寺	一二九三
	18	遠照寺	一二九五
	19	弘妙寺	一二九五
	20	広勝寺	一二九六
	21	清福寺	一二九六

第三編 民俗編

第一章 社会生活

第一節 概 説	一三〇一
第二節 城下町と村方の規模	一三〇三
第三節 町方・村方のしくみ	一三〇六
第四節 諸集団	一三一〇
第五節 町方の生活	一三一九
第六節 村方の生活	一三二三

写 真

1 寄合用書類箱箱書	一三〇八
2 寄合用書類箱	一三〇八
3 仲間入り契約書	一三〇九
4 新入り誓約文	一三〇九
5 仁義礼智信講規定帳(表紙)	一三一五
6 仁義礼智信講規定帳(裏書き)	一三一六
7 伊勢講(表紙)	一三一六
8 伊勢講(裏書き)	一三一六
9 講定書き	一三一七

第二章 仕事と用具

第一節 稲 作	一三二五
第二節 畑 作	一三三一
第三節 養 蚕	一三三三
第四節 炭 焼 ぎ	一三三五

第五節 漁 撈

第六節 諸 職	一三三八
---------	------

写 真

1 西駒ヶ岳に現れる駒の形	一三二五
2 馬 耕	一三二五
3 代掻き用まんが	一三二五
4 うすがま	一三二六
5 砥 石	一三二六
6 おおあし	一三二七
7 田 車	一三二七
8 田植え用定規	一三二七
9 稲刈り鎌	一三二八
10 稲こぎまんが	一三二八
11 稲こぎ風景	一三二八
12 足踏み稲抜き機	一三二九
13 唐 箕	一三二九
14 白ひき(千俵ひき)	一三三〇
15 万石どおし	一三三〇
16 一俵枘漏斗	一三三〇
17 水車の内部	一三三〇
18 鋏	一三三一
19 大豆粕削り機	一三三一
20 飼料箱	一三三一
21 馬のくつ	一三三一
22 馬の鞍	一三三一

47	製	品	一三四二
46	ろくろで削る	一三四二	一三四二
45	下絵がき	一三四一	一三四一
44	桶製造	一三四〇	一三四〇
43	提灯製造	一三三九	一三三九
42	縄ない機	一三三九	一三三九
41	米俵編み	一三三九	一三三九
40	筵織り	一三三八	一三三八
39	藁搦き水車小屋	一三三八	一三三八
38	かじか網ほか	一三三八	一三三八
37	釣り竿及び漁具	一三三七	一三三七
36	投網	一三三七	一三三七
35	焚き口を止める	一三三六	一三三六
34	炭焼き(焚きつける)	一三三六	一三三六
33	原木(檜)	一三三六	一三三六
32	改々良まぶし	一三三五	一三三五
31	改良まぶし	一三三五	一三三五
30	上簇用こがや折機	一三三五	一三三五
29	ぼて(桑葉を運ぶ器)	一三三四	一三三四
28	桑こぎ	一三三四	一三三四
27	桑切り庖丁	一三三四	一三三四
26	羽箒	一三三四	一三三四
25	蚕種(梓製)	一三三三	一三三三
24	大八車、運送車	一三三三	一三三三
23	厩堆肥運搬用具	一三三三	一三三三

第三章

衣・食・住

48	窯	一三四二	一三四二
49	鈴用の粘土	一三四二	一三四二
50	鈴用の型及び鈴用の玉(粘土)	一三四三	一三四三
51	まんじゅう製造機	一三四四	一三四四
52	練り機	一三四四	一三四四
53	竹細工	一三四五	一三四五
54	竹細工用具	一三四五	一三四五
55	栗板剥ぎ	一三四六	一三四六
56	板葺き石置屋根葺き	一三四六	一三四六
57	原型接合部の高い所を削り落とす	一三四七	一三四七
58	塗装した後、細部の孔にパテを塗る	一三四七	一三四七
59	マネキン	一三四七	一三四七
60	加工、修理工具	一三四八	一三四八
61	畳作り	一三四八	一三四八
62	畳職諸道具	一三四八	一三四八
63	畳床製造の際に床を打つ槌	一三四九	一三四九
64	全工程すべて機械である	一三五〇	一三五〇
	第一節 衣生活	一三五一	一三五一
	第二節 食生活	一三五五	一三五五
	第三節 住居	一三六三	一三六三

図表

18	屋根材	一三六五
17	寄せ棟スレート屋根(三義地区)	一三六四
16	板葺き石置き屋根(長藤地区)	一三六四
15	寄せ棟草葺き(河南地区)	一三六四
14	屋敷構え(河南地区)	一三六三
13	水がめ	一三六二
12	石白	一三六一
11	わたし	一三六一
10	せいろ	一三六一
9	お膳箱	一三六一
8	小梓	一三五五
7	はた織り	一三五四
6	防寒用雪靴	一三五三
5	みの	一三五二
4	こうかけに草鞋	一三五二
3	冬の山仕事用	一三五二
2	はばき	一三五二
1	男の野良着	一三五二
写 真		
5	商家の間取り	一三六九
4	きじり	一三六八
3	小二階のある平屋建ての民家	一三六七
2	農家の間取り図	一三六六
1	食事のときの座席	一三六〇

第四章

人の一生

19	平入り瓦葺き(以前の瓦)	一三六五
20	切妻造トタン葺き(河南地区)	一三六五
21	入母屋トタン葺き	一三六五
22	ろばた	一三六七
23	立体的建築	一三六九
24	よしはら火鉢	一三七〇
25	婦人用枕	一三七〇
26	婦人の髪型	一三七〇
27	火打石、火打金	一三七〇
28	灯火具	一三七〇
29	街灯とランプ	一三七一
30	あんか、火鉢	一三七一
31	ストーブ	一三七一
1	お宮参り	一三七四
2	誕生祝い	一三七四
3	七五三の祝い	一三七六
4	入学	一三七六
1	出産から入学まで	一三七三
2	成人式	一三七六
3	婚姻	一三七七
4	厄年・福寿	一三八一
5	葬送(仏式)	一三八二
写 真		

	第五章	年中行事	……………	一三八七
	第一節	村落の年中行事	……………	一三八七
	一	正月の準備	……………	一三八七
	二	一月	……………	一三八九
	三	二月	……………	一三九四
	四	三月	……………	一三九六
	五	四月	……………	一三九七
	六	五月	……………	一三九七
	七	六月	……………	一三九七
	八	七月	……………	一三九八
	九	八月	……………	一三九八
	十	九月	……………	一三九九
	十一	十月	……………	一四〇〇
	十二	十一月	……………	一四〇三
			……………	一四〇四
			……………	一四〇四

第六章

民間信仰

	十三	十二月	……………	一四〇五
	第二節	武家の年中行事	……………	一四〇六
	表			
	写	1	御家中略図	一四〇七
	真	1	厄投げ	一三九三
		2	節分	一三九四
		3	初午	一三九五
		4	天神様	一三九六
		5	雛祭り	一三九六
		6	端午の節句	一三九八
		7	仏送り	一四〇二
		8	盆踊り	一四〇二
		9	二十二夜様	一四〇二
		10	自分坂	一四〇七
		11	鉾持神社 元宮旧蹟	一四一〇
				一四一七
	第一節	民間信仰	……………	一四一七
	第二節	祝殿	……………	一四二〇
	第三節	講	……………	一四二一
	写	真		
		1	道祖神	一四一七
		2	双体道祖神	一四一八
		3	馬頭観世音	一四一九

第七章

民間芸能

4	地類で祭る祝殿……………	一四二〇
5	氏神的存在のマキで祭る祝殿…	一四二〇
6	燈明をあげる秋葉燈……………	一四二一
7	御題目講の掛軸……………	一四二一
8	大数珠……………	一四二二
9	大山祇命の掛軸……………	一四二三
	第一節 芸能……………	一四二七
	一 高遠囃子……………	一四二七
	二 獅子舞……………	一四四二
	第二節 俚謡……………	一四四五
	一 龍勝寺山の姫小松……………	一四四六
	二 山宝甚句……………	一四四七
	三 野良唄……………	一四四八
	四 おん岳山(伊那節)……………	一四四九
	五 婚礼唄……………	一四五一
	六 盆踊り唄、えいよう節……………	一四五二
	七 子守唄……………	一四五四
	八 田植唄……………	一四五六
	九 遊びの唄……………	一四五七
	十 羽根つき唄……………	一四五九
	十一 数え唄……………	一四五九
	十二 手毬唄……………	一四六一
	十三 お手玉唄……………	一四六六
	第三節 その他……………	一四七八
	一 茶道……………	一四七八
	二 いけ花……………	一四七九
	三 小原の相撲と花火……………	一四八二
	四 能……………	一四八六
	図表……………	
1	高遠囃子……………	一四三二
2	松ばやし……………	一四三三
3	松ばやし……………	一四三四
4	せのばやし……………	一四三四
5	松ばやし……………	一四三五
6	おんこと……………	一四三五
7	高砂町囃子……………	一四三六
8	高砂町返り囃子……………	一四三七
9	高遠囃子……………	一四三八
10	地方連高遠囃子……………	一四三九
11	松囃子……………	一四四〇
12	龍勝寺山の姫小松……………	一四四七
13	おん岳山……………	一四五〇
14	門唄……………	一四五二
15	盆踊り唄……………	一四五三
十四	詩吟……………	一四六八
十五	高遠唱歌……………	一四七一
十六	高遠音頭……………	一四七三
十七	孤軍高遠城……………	一四七五

14	現在の脱穀機	一四五六
13	子守唄	一四五四
12	山室甚句	一四四七
11	龍勝寺山の姫小松	一四四六
10	引持獅子舞	一四四三
9	発表会	一四三一
8	霜町の燈籠	一四三〇
7	高遠ばやし練習風景	一四三〇
6	新町の囃子連	一四三〇
5	鉾持町の囃子連	一四二九
4	鉾持神社前を出発する多町の囃子連	一四二九
3	鉾持神社前を出発する桜・島の囃子連	一四二八
2	鉾持神社前を出発する高砂町の囃子連	一四二八
1	高遠囃子に使われる楽器	一四二八

写 真

22	絵島哀歌	一四七六
21	孤軍高遠城	一四七七
20	高遠音頭	一四七四
19	高遠唱歌	一四七二
18	会員数表	一四六九
17	子守唄	一四五五
16	エーヨー節	一四五四

第八章

民間文芸

28	謡曲本	一四九〇
27	高砂	一四九〇
26	ほご謡	一四九〇
25	謡曲難易等級表	一四八八
24	池上宗月の免状各種	一四八七
23	池上宗月碑	一四八七
22	花火筒	一四八六
21	相撲免状	一四八五
20	力士若櫻のまわし	一四八三
19	力士大澤川のまわし	一四八三
18	建福寺境内にある深沢蕉郷の頌徳碑	一四八一
17	六波羅千代碑	一四七八
16	作詩者 北原徳治	一四七五
15	高遠音頭	一四七三

第九章

民間伝承(伝説・昔話)

1	姫が池のある城山城跡	一五〇一
2	イボ石	一五〇二
3	杖突街道栗巾の里	一五一一
第一節	町方の伝説と昔話	一四九九
第二節	村方の伝説と昔話	一五〇九

写 真

4	千両淵	一五二三
5	夫妻岩	一五二五
6	宮原五反五畝	一五二六
7	もりや山山頂	一五二七
	第十章 方言	一五一九
	第一節 方言の意義と発生	一五一九
	第二節 日本の方言、長野県の方言	一五一九
	第三節 高遠町の属する地方の方言	一五二一
	図表	
1	方言語彙表	一五二二
	メートル法換算表	一五三七
	あとがき	